

平成 24 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜ファミリーパーク	所管課	都市建設部 公園整備課
所在地	岐阜市北野北		
指定管理者名	一般財団法人岐阜市みどりのまち推進財団		
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	92,042,000円		
施設の設置目的	総合公園である岐阜ファミリーパークは、市民のみならず県外からも多くの方が訪れ散策やレクリエーション・スポーツ等を楽しむ場、また、岐阜市少年自然の家を中心に自然に親しみつつ学ぶ場として広く利用してもらうために設置。		
施設概要	スポーツレクリエーションゾーン: 野球場(1面)、サッカー場兼ラグビー場(1面)、テニスコート(10面) センターゾーン: 岐阜市少年自然の家、岐阜ファミリーパーク体育館など こどもゾーン: サイクルモノレール、スーパーモービル、ボブスレー、バッテリーカー、ボート、パターゴルフ、インラインスケート 他: 来園者休憩所(無料)、管理事務所		

●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
利用者数(単位:人)		236,009	311,406	122,018	187,911	141,891
各室稼働状況(人)	こどもゾーン	167,198	229,008			
	スポレクゾーン	32,738	47,070			
	ミワクル広場	36,073	35,328			

●業務の履行確認

区分	確認事項(運營業務について)	履行状況(実施内容、時期等)
利用者サービス	①公園全般の業務の実施	案内看板の設置及び園内放送の活用を図り、来園者へ情報の提供を行うと共にホームページのお知らせ欄を活用。 アンケートの実施、ホームページでの意見聴取を常時実施。 イベント開催には少年自然の家、体育館の参加による協働体制を整え、三者会議を年間3回開催。 緊急時の対応は、地域を管轄とする機関(警察、消防等)と連携し自然災害や防犯活動に努め、日常の管理報告は日報等で報告。
	②有料公園施設(供用日・時間の遵守、施設貸付、利用受付及び使用料収納業務)	施設供用日・時間は、仕様書を遵守。 メンテナンス時期については事前に市と協議し、緊急時はホームページ等のお知らせコーナーを活用し周知。 有料公園施設の貸付の利便性を高めるため、HPと岐阜市公共施設予約システムのページをリンクさせた。 使用料金の徴収には細心の注意を図り、常に事務所職員の手で行い安全確保のため複数人での対応を義務づけ、使用券報告書を毎月提出。 安全管理にはマニュアルを活用し防災訓練は年1回開催(2月消防訓練を実施)、防犯器具の設置と安全パトロール車の運用を実施。
	③ミワクル広場の維持管理	土日、祝日及び学校の長期休暇に合わせ、専属の安全指導員を常駐させ安全管理に努めた。利用アンケートは随時実施。
	④駐車場の維持管理	一部未舗装の駐車場について定期的な除草作業を行い、適切な管理を実施。 摩耗老朽化による舗装駐車場のラインを塗装修繕実施(テニスコート側)。 こどもゾーンではゲート閉鎖により夜間休日管理を適切に実施。
	⑤広報の方策について	イベントなど、市民への広報は岐阜市広報誌を活用し、専門誌・フリーペーパー等の情報誌にもイベント案内等を掲載。 地元自治会、学校等へ案内チラシを配布。

区分	確認事項	履行状況		
		履行状況	実施月	備考
自主事業・ 提案事業	①市民ふれあいフェスティバル(11月4日)開催実施	実施	11月4日	少年自然の家、地域団体との連携により実施。(約8,000名来園) 移動動物園が幼児に人気。
	②ファミリーフェア(3月20日)実施	実施	3月20日	少年自然の家、体育館、地域団体との連携により実施。(約8,000名来園) トロッコ列車に人気。また、ビンゴゲームに親子1,000名参加。
	③岐阜農林高校生徒栽培花苗の活用	実施	11月9日	岐阜市の花であるサルビアを2,000株花壇に植栽。 11月にはパンジー2,000株を植栽。
	④公園を拠点とした地域と連携した学習	実施	11月18日	地域各種団体との連携により、地元歩け歩け大会が行われ、イベント拠点として活用。
	⑤サッカー教室の開催	実施	3月9日	岐阜で唯一のプロチームとして活躍しているサッカーJ2FC岐阜のイベントを親子サッカー教室として実施。 48組96人の親子が参加。プロ選手3名コーチ2名が指導。
	⑥岐阜ファミリー倶楽部の運営	随時	イベント時	岐阜ファミリー倶楽部の運営に関しては毎月1~2名の入会者があり、現在90名の会員が登録されている。会員にはイベントの大会案内を実施。
	⑦徳山の家の活用	実施	12月16日	古民家での生活用具や農機具の展示を行っている古民家で、地元住民の指導により正月用のしめなわ飾りづくりを実施。 地元の子供親子で20組参加。
	⑧省エネ活動(ホームページで紹介)	実施	イベント時	省エネや果実の収穫を兼ねた緑のカーテンを管理棟多目的ホール南側やボート乗り場待合所に設置。みどりの相談窓口(ホームページで紹介)の開設。
	⑨池の浄化対策(協働研究実施)	実施	8月~2月	最初に、規模や景観上からスポレクゾーン野球場前の観賞池を対象に実施。水質調査を行い集中的な対処方法を考え、安全な方法での対策を実験研究(協働研究)。 次年度追加研究を行う予定
	⑩外来魚対策	実施	11月~12月 調査捕獲	外来魚の生存が確認されたため、駆除対策を実施中。今期は、調査捕獲を実施し駆除方法を研究中。
	⑪ふれあい温室の活用	実施	10月 2月	10月に花の種まきを実施。 2月には地元へ花苗の提供を実施。

施設管理	①建物、工作物、設備維持管理業務	実施	4月～	基本的な職員研修(主任会議・全員朝礼)などを通して、安全に対する意識の定着を実施。施設維持管理は、業者依頼にて改修を随時実施。遊戯施設安全管理講習を12月14日受講。
	②保安警備業務	実施	4月～	夜間休日の管理棟の警備は、警備会社による機械警備を実施し、異常発生時には、警備員による現地対応を行った。管理者へは緊急連絡網にて報告を受けるよう体制を整えた。今年度は昆虫侵入、落雷で2回緊急通報を受けた。
	③園内清掃業務 ④便所清掃業務	実施	4月～	常時2名が、日常的な建物清掃と便所清掃を実施。
	植物管理業務について			
	①芝生管理 ②除草、草刈	実施	4月～	スポレクゾーンの芝生広場では、乗用芝刈り機を使用し大規模な管理を年3回の作業で実施(作業員は刈払機の講習を受講済み)。園路施設周辺における除草作業は、専属職員の配置を行い、常時実施。
③樹木管理 ④花壇等管理	実施	4月～	専門業者に業務委託を行うことにより、より適正な業務が遂行できるよう適切な業務管理を実施。(花壇管理業務委託、枯損木剪定業務委託を実施) テニスコートの防風樹木(カイズカ)の剪定や枯損木の撤去、低木の刈込を実施。 また、雪害による倒木処理、危険木剪定処理を実施。(12月、1月降雪時)	
⑤動物飼育	実施	4月～	スポレクゾーン野球場前の観賞池では、市民の心をいやす錦ごいやアヒルを飼育。	
区分	確認事項(運營業務について)	履行状況(実施内容、時期等)		
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	老朽化のため正規部品がないものについては、代替品の調達等、専門業者との連携を取ってメンテナンスを実施。緊急修繕等地元業者の把握に努め、迅速な修繕を実施。 有料遊具については、長年経験を培った職員が日常的に点検・整備を行い、遅滞なく営業を行った。		
危機管理・法令遵守	その他の留意事項、関係法令の遵守、個人情報の保護非常時の対応策について	常に利用者の声に耳を傾けサービス改善に努めている。 市の公園条例等規則を正しく運用し、適正に対応できるよう努めている。 団体の規定に準じて、個人の人権プライバシーの保護には最大限の注意を払い、不審感を抱かれないように努めている。 非常時の対応は、執行責任者から理事長までの緊急連絡網を整備し、迅速な対応を実施。		

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<p>子どもゾーン管理棟及びスポレクゾーン野球場、ミワクル広場にアンケート記載所を設け、常時来園者の意見が聴取できる体制を整え実施した。また、ミワクル広場では対面式による職員の聞き取り調査も実施した。</p>
利用者アンケートの実施結果	<p>子どもゾーン 163名 ミワクル広場 70名 計 233名の方のアンケートを回収した。 アンケートからは、子どもゾーンの来園者は市内、市外、県外、と同等でバランスよく来園いただいた。 市内の利用者は36%であり市北東部という地域性がある。 家族での来園が殆どで、年に数回程度利用をいただいている方が86%でリピーターが定着している。 滞在時間は3時間以上の方が大半で全体の46%を占めた。 乗り物での人気は常にゴーカートとスーパーモービルが高く、次いでジェロニモ砦の人気が高い。 満足度では普通以上との回答が95%を超えており、きれいで楽しい公園であるとの意見も多かった。 ミワクル広場の認知度は上がり60%のお客様が知っているという回答している。しかし子どもゾーンでの設置場所の確認は今でも多い。 また、ホームページの認知度もまだ十分ではなく53%の方が知らないという回答。ファミリーパーク倶楽部は41%の方がご存じであった。 ミワクル広場では 70名の方にアンケート用紙に記入頂いた。 利用者は市内と市外、県外が約半数であり、近場での利用が多いことが伺えた。 ミワクル広場は楽しくて、今まで遊んだことのない遊具があると99%の方が回答している。 大型複合遊具が近くに人気があり、また来たいとの意見が多く回答されていた。 秋には幼稚園児の来園が多く、ミワクル広場の認知度も上昇がうかがえる。</p>
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<p>子どもゾーン 乗り場係員の言葉づかいについて。(主任会議及び毎週の朝礼にて接遇教育を実施し対応) 授乳室の利用が多く増設してほしい。(次年度増設を検討中) 第3日曜日は子ども無料の日使い方が荒っぽくなる。(使用規定を検討中) 木陰、水辺を増やしてほしい。(休日はパラソルを設置、夏場のヨシズ、緑のカーテンの増設については実施) スポレクゾーン テニス、野球場大会開催日は路上駐車あり。(子どもゾーン駐車場利用を看板設置や園内放送で案内) テニスコートトイレ改善要望あり。(換気扇、照明灯など必要な改修を実施) 園路インターロッキング不良について(木の根による盛り上がり)改修意見有り。(緊急修繕にて対応) ミワクル広場 日陰、飲み物自販機の設置希望あり。(既設休憩施設にヨシズ等設置) 幼児向け遊具で大きな子供が遊ぶ。(使用看板、監視員対応にて啓発) パーク全体 各ゾーンの移動手段を考えてほしい。(電動カート等の連絡車両の導入を検討中) 施設の老朽化が目立つ。(便益施設のトイレ等の故障が目立つので適時修繕を実施) 交通案内が増え、来るのに楽であった。(各交通要所に設置済み)</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	市民が平等に利用できるための基本的な考え方についての評価	○有料公園施設や駐車場の利用について平等性を保つ姿勢や方策を実施している	A	A	A
			○法令等で禁止されている行為、危険行為、迷惑行為について使用の制限などを実施している	A	A	A
		当該都市公園に関する情報の公開、広報の方策についての評価	○当該都市公園について、広く利用情報を公開、発信する姿勢、方策を実施している	A	B	B
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	事業計画書の内容における基本的な考え方についての評価	○「公の施設」を運営・管理するという基本的な考え方を有し業務を遂行している	A	A	A
		園内の施設等管理に対する考え方についての評価	○各施設の維持管理のため、各施設の特性を理解して管理・運営している	A	A	A
			○施設(有料公園施設については除く)の維持管理のため、安全性、機能保全、快適性を確保する管理・運営している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生管理、草刈、樹木剪定を実施している	A	A	A
		有料公園施設運営に対する考え方についての評価	○有料公園施設を利用者が快適に利用できるための方策を実施している	A	A	A
		管理の質及び利用者サービスの向上に対する取り組みについての評価	○管理の質及び利用者サービスの向上に対する具体的な方策を実施している	A	A	A
			○利用者ニーズや苦情に対する把握方策及びその対応策を実施している	A	A	A
			○当該公園全体の利用促進に対する方策を実施している	A	A	A
その他応募者の独自提案	○その他公園の設置目的を最大限に発揮できるような独自提案について実施している	S	S	S		
	区分評価			A		

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	「事業計画書の内容が管理経費の削減が図られるものであること」に対する基本的な考え方についての評価	○当該公園の効用が最大限に発揮できるための、効率性の高い業務を遂行している	A	A	A
		管理に係る経費の削減に対する取り組みについての評価	○指定管理経費を削減するための方策を実施して、指定管理料に反映されている	A	A	A
			○スタッフ(採用予定者も含む)の配置は適正なものとなっている	A	A	A
		有料公園施設の利用促進に対する評価	○有料公園施設の収入増加を図るための方策を実施している	A	A	A
		その他経費削減について応募者の独自提案	○経費削減について応募者の独自提案を実施している	A	A	A
区分評価					A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	当該団体の業務遂行能力についての評価	○業務を遂行できるための安定的な経営基盤を有している	A	A	A
			○業務を遂行できる適正な団体構成となっている	A	A	A
			○組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格が適正であり、ノウハウ、専門知識等を使い管理している	A	A	A
			○業務を遂行するにあたり、スタッフ(採用予定者も含む)の管理、適正な監督体制をとり、人材育成の方策を実施している	A	A	A
			○施設の日常点検、定期点検など、異常を早急に発見しようとする方策を実施している	A	A	A
			○異常があった際に、応急措置を行う体制が整っている	A	A	A
		緊急時における対応についての評価	○法令を遵守する重要性や個人情報保護について理解し、情報の漏洩を防ぐための方策を実施している	A	A	A
			○事故を予防するための体制が整っている	A	A	A
			○事故の発生時に被害者への対応及び施設の復旧などの方策を実施している	A	A	A
			○大雨、地震などの災害発生が予想されるとき、または発生した時の体制が整っている	A	A	A
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	事業計画書が地元活性化、地元へ貢献できる内容であるかの評価	○地元での社会活動を具体的に実施している	A	A	A
			○公園の特徴を理解し、地元への配慮等を実施している	A	A	A
			○地元の法人その他の団体の育成施策を実施している	A	A	A
			○地元の住民、高齢者、障害者等の雇用が確保されている	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>財団単独での指定管理を受託しており管理者組織の意思伝達は改善されている。さらに、経費的にも無駄な部分が削減されたと感じている。 多業種での企業体を持つ知識に乏しい為、協力組織の活用を図り現スタッフでの能力開発組織充実を図った。公益性を持つ財団による管理の良さのメリットは経費等に出ている。 上半期に手間取った事案にも適切に対応できる能力が整い、各種安全講習会や、安全対策に積極的に対応できた。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>アンケート意見、運営会議、指定管理者評価委員会の各種意見をほぼ反映できた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>公園施設として長い年月が経過しているが、その良さも出てきている。特に景観的には充実した良さがあり、来園者の多くの方が美しい公園との感想を寄せている。 しかし、有料施設更新がなく老朽化が随所に出ており、最悪の場合は利用停止あるいは早期に施設整理を視野に入れ、来園者の安全第一の管理を行うことを最重点に指定管理に努めていきたい。 また、遊具総合点検を実施(2月)した結果を検討し安全で楽しい総合公園として運営を図っていく。</p>

●所管課の意見

<p>・利用者サービスについては、ホームページ情報の更新において、一部で更新が遅い部分が見受けられた。今後は、全ての情報更新が同時に行われるよう改善を図られたい。 ・自主事業・提案事業については、事業計画に沿って着実に実施している。 ・施設の管理・修繕等については、着実に実施している。 ・利用者アンケートについては、今後も引き続き要望等の把握に努め、管理運営への活用を図られたい。 ・選定基準に基づく評価における「公平性・透明性」については、利用者サービスの部分で指摘したことを加味し、一部B評価とした。また、「効果性」については、FC岐阜の選手を招いての親子サッカー教室を実施し、好評を得たことから一部S評価とした。</p> <p>以上により、管理運営の状況は協定書の内容に基づき、概ね良好と認められる。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・岐阜ファミリー倶楽部会員を増やすために、ホームページなどを積極的に活用すること。 ・利用者アンケートについては、アンケート数を多く取れるような方策を検討し実施すること。</p> <p>岐阜ファミリーパークの指定管理について、概ね協定書、要求水準の内容どおり業務を履行していると認められる。</p>
--